

森をつくろう



障害のある方に美術館を楽しんでいただくためのイベントです。今回のワークショップでは、予めご用意した手づくりの鳥（胴体と羽）や木のパーツを色々な画材（アクリル絵の具、パステル、ペン、色紙など）でカラフルに装飾して組み立てます。完成した作品は、木枠に吊り下げて大きな森のインスタレーションに仕上げます。創作が苦手な方や、早くつくり終わった方は、海の広場やワークショップ室から海を眺めたり展覧会を観覧するなど、自由に過ごしていただけます。

障害のある方が利用する施設や団体の皆さん（支援施設・作業所・放課後デイサービスなど）、障害者を含む家族の方など、美術館に興味があるけれどなかなか出かける機会がなかった方、新しい表現活動を体験してみたい方、講師とお話してみたい方など、気軽にご参加ください。

※作品は原則としてワークショップ終了後の返却になります。

※「福祉とアートが出あうとき」では、障害のある方がそれぞれの興味や特性にあった表現活動に出会う機会をつくっています。また、一緒に美術館を訪れたスタッフなど付添の方に、障害がある方の表現活動を見守る姿勢や、環境づくりを知っていただく機会となることを目指しています。

日 時 2026 年 11 月 12 日（木） ①10:30～12:00 の回 ②13:30～15:00 の回
11 月 13 日（金） ①10:30～12:00 の回 ②13:30～15:00 の回

※12～13 時の間、ワークショップ室や海の広場で昼食等をとることができます。ご希望の方は、申込み時に申告をしてください。

※制作が苦手な方は、作品をつくらずに会場で過ごすだけでも構いません。

※制作の進み具合によって、終了時間より早くお帰りになっても構いません。

講 師 ヤルカ クリエーターズ
YARUCA creators

イラストレーターの a-co とデザイナーの hinako によるデザインユニット。障害者がいかに社会の中で楽しく交わるかをキーワードに、障害者施設の店舗プロデュース、販促企画などに取り組んでいます。福祉施設のクラブ活動でイラストクラブの講師も務めています。

対 象 障害のある方が利用する施設や団体（支援施設・作業所など）、障害者を含む家族
※施設や団体単位でも、家族（個人）単位でもご参加になれます。参加者の年齢は問いません。

※施設や団体で参加される際は職員の付添をお願いします（送迎のみは不可）。家族（個人）で参加される際は、障害のある参加者が未成年の場合は保護者の付添をお願いします（外部ヘルパーの付添も可）。

定 員 同時間帯に約 30 名（付添を含む）

※同時間帯に会場に 30 名以上となる場合は、参加回の調整をお願いする場合があります。

参 加 費 無料

※展览会をご覧になる場合は観覧券が必要です（身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と介助の方〔1 名〕は無料）。

※障害者手帳をお持ちの方が同乗された乗用車で駐車場を使用する場合、駐車場使用料が無料になります。係員に手帳をご提示ください。

持 ち 物 汚れても良い服。飲み物や食べ物（ワークショップ室内や海の広場で飲食できます）

参加方法 事前申し込み制（e-kanagawa）

施設団体の方はこちらから→



個人の方はこちらから→



※事情があり e-kanagawa での申し込みが難しい方は、ご相談ください。

締 切 2026 年 10 月 22 日（木）23:59

主 催 横須賀美術館

協 力 横須賀市民生局福祉こども部障害福祉課

問合せ先 横須賀美術館（担当：立浪） TEL:046-845-1212